

ことから、公衆トイレ再整備を先行して行い、誰もが安心・安全に利用できる環境を構築します。

Jヴィレッジ新駅設置につきましては、Jヴィレッジは福島県復興のシンボルであり、双葉地方の復興に大いに寄与するものであります。Jヴィレッジを中核とした地域全体のさらなる活性化のためには、交流人口の拡大、とりわけ首都圏からの誘客力の向上、交通アクセスの強化が不可欠であります。このため本町は、立地自治体として中長期的視点に立ち、双葉郡の他町村、東日本旅客鉄道株式会社、福島県、双葉地方町村会と密に連携し、新駅設置に向けた取り組みを進めていきます。

また、町民が安心して暮らせる住環境を整備していく上で、**教育・子育て環境**をしっかりと捉えていくという視点が非常に重要であります。教育・子育て環境が充実していることは、将来を担う子どもたちや家族が将来にわたり町で生活していただけることにつながるものであり、広野町が持続可能な自治体として成長していくため非常に重要であります。

本町に立地する「**ふたば未来学園高等学校**」は、約300人強の生徒が、自立、協働、創造の校訓のもと、日々頑張ってお

4月から実施いたします。**除染対策**につきましては、平成24年度から実施している家屋敷地などにおける**環境モニタリング調査**を引き続き実施し、生活圏における放射線の状態などについて情報を提供してまいります。また、平成30年度の除染廃棄物の中間貯蔵施設への搬出量につきましては、約33000袋となっており、残りの除染廃棄物も速やかに搬出するよう環境省に求めてまいります。また、その間、責任を持って、東町仮置き場の安全管理に努めてまいります。

交通安全対策につきましては、**広野町安心・安全ネットワーク会議**をはじめ、関係機関と緊密な連携を図り、毎月の立哨活動をとおし、交通事故防止に努めます。また、高齢者が当事者となる交通事故の減少を図るため、**高齢者運転免許証自主返納支援事業**を実施いたします。

防犯対策につきましては、地域住民が安心して生活できるよう、双葉警察署、警戒パトロール隊、防犯指導隊など関係団体と連携を図り犯罪の防止に努めます。犯罪に対する抑止力の向上を図るため、昨年に引き続き、**住宅用防犯カメラ**の設置者に対し経費の一部を支援します。

防災・防火対策につきましては、地震、津波から地域住民の

り、3月1日に第1期生が卒業しました。浜通りに進出した研究機関や企業が高等教育を修学した人材を求めることを考慮すれば、当該地域への**高等教育機関**の誘致が重要であり、子どもたちに「**みらい**」や「**夢**」を感じてもらえる環境を整える必要があります。町としましては、連携協定を締結している**早稲田大学環境総合研究センター**や**東日本国際大学**、**福島工業高等学校**との連携を密にし、ふたば未来学園高等学校をはじめ、町内の教育環境の充実に努めます。

ふたば未来学園整備事業につきましては、福島県教育庁は、平成31年春の開校を目指す中高一貫校について、**併設型中高一貫教育校**のメリットを活かしたコンパクトで機能的な施設、国際教育、環境教育などの多様な教育活動や、個別指導や共同学習を展開できる柔軟な運用が可能な本校舎施設を、総合グラウンド西側土取場跡地に、屋外運動施設のサッカーグラウンドを下北迫字岩作地内に、通学困難な生徒のための寄宿舎が、平成31年3月竣工に向け、着工されました。町としましては、福島県教育庁に協力し、予定どおり整備が進むよう取り組みます。本年1月に、こども家庭課内に「**広野町子育て世代包括支援**

生命を守るため、関係機関と連携のもと、**津波避難訓練**を実施いたします。災害発生時に地域住民が多様な情報手段から情報を取得し、迅速かつ確実に避難することができるよう、新たに**Jアラート**と**防災行政無線**を連携し、情報の多重化を進めます。広域消防指令台で感知した災害情報に基づき、町の防災行政無線と連動して、火災情報等の伝達ができるシステムを構築いたします。また、火災が起きないよう消防団、婦人消防隊と連携し、予防消防に努めます。

森林につきましては、上浅見川地域より、**ふくしま森林再生事業**を活用し、間伐などの森林整備と、表土の流出防止などの放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能の



ふるさと創生大学

センター」を立ち上げ、妊娠から出産、子育てへと途切れない支援を行うこととしており、平成30年度においては、はじめての妊娠、出産を控えるご夫婦を対象とした学習会の開催や相談コーナーの開設など、より一層子育て世代へ寄り添いながら支援の充実を図ります。出産後一ヶ月を含めた**妊産婦健康診査**、**乳幼児健康診査**、**核種予防接種事業**、**乳幼児等医療費助成事業**を引き続き実施いたします。



ふたば未来学園建設工事安全祈願祭・起工式

また、帰還された障がい者児などが公共交通機関の利用が困難な場合や福祉事業所の送迎を受けられないなどの場合には、障がい者児の通所事業所までの**移動支援**を継続いたします。また、障がい者児福祉について、

維持と放射性物質の拡散防止へ計画的に取り組みます。**防災拠点道の駅ひろの**整備事業につきましては、双葉地方を元気で活力のある地域とするため、町民が積極的に関わる「**協働**」による道の駅の整備と民意の合意形成を図りながら進めてまいります。

道の駅計画区域内の土取り造成事業につきましては、公設の土取り場として位置付け、広野町以北の災害復旧事業と復興事業などの盛土材として活用し、暫定の造成により平地となった場所を防災広場とすることから、土取り採取計画の許可申請事務と国道六号線からの出入口を確保のうえ、国土交通省警城国道事務所との連携を図り、土取り造成事業に着手いたします。

教育全般につきましては、幼稚園、小学校、中学校が、義務教育終了時点の「**めざす子ども**の姿」を共有し、「**夢や希望を抱き未来をたくましく生き抜く幅広い見識と創造性の育成**」を、幼稚園と義務教育九年間の一貫した教育目標として掲げ、各発達段階において、その基礎となる「**確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度**」「**人への思いやり**」の心とふるさとへの愛着「**生涯にわたり健康で安全に生活する力**」の育成を目指し、「**広野**

地域住民により一層理解を頂けるよう啓発に努めます。**子ども子育て支援新制度**につきましては、「**広野町子ども子育て支援事業計画**」に基づき、各種事業を推進しております。平成31年度が改訂の時期となるため、平成30年から改訂作業の準備に取りかかることとしており、対象世帯へのアンケート調査を予定しております。

認定こども園整備事業につきましては、町の未来を担う子どもたちの健やかな成長を育む土台となるべく、幼保連携型の一元化施設として、**認定こども園**の整備を進めております。2月に臨時議会において承認を頂き、本体工事に着手いたしました。平成30年度においては、平成31年4月の開園に向けて、本体工事に加え、外構工事に着手し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。また、工事期間中は保健センター、保育所、児童館を利用する町民の方々にはご迷惑をお掛けすることとなりますが、各施設利用者の安全を第1に事業を進めます。

児童福祉（保育所・児童館）につきましては、児童館の次年度においては80人を超える児童の入館が予定されており、将来を担う子どもたちが、明るく、



安心・安全ネットワーク会議立哨活動

町教育ビジョン」に基づく魅力ある教育活動を展開してまいります。**就学・就園支援事業**につきましては、東日本大震災により被災した園児児童生徒の保護者などに対し、**被災児童生徒就学援助事業補助金**を活用し、定められた所得要件に基づき、私立幼稚園の保育料や小中学校就学に係る費用を助成する就学援助を実施いたします。また、同補助金により、平成30年度においても広野小・中学校に通学する児童生徒の安全を確保するため、引き続き町内外の**スクールバス**の運行を実施いたします。

広野幼稚園就園補助事業につきましては、東日本大震災により被災した保護者の負担軽減と広野幼稚園への就園奨励を図るため、広野幼稚園に在園する園児の保育料と給食費の全額を補助します。

国際交流事業につきましては、次世代を担う中学生を海外に派遣し、ホームステイや同世代の人たちとの交流や、海外での様々な事業に参加することで、「**国際的な視野と見識**」並びに積極的に物事に取り組み「**逞しく生きる力**」を身につけるため**国際交流事業**を実施いたします。

ふるさと創造学・映像教育につきましては、中学一年生を中

心に映像制作を行い、ふるさと広野町の良さを再発見し、伝統と文化を見つめ直すことで、広野町の未来と地域の復興に貢献できる子どもたちを育成する「**ふるさと創造学**」に取り組みます。

幼小中魅力化検討事業につきましては、ふたば未来学園における**併設型中学校**が平成31年4月に開校される状況において、広野中学校の健全なあり方について熟慮し、これまで実施してきた小中学校間の連携・接続の成果を検証しつつ、幼稚園・小中学校の魅力ある教育の具体化に向けた検討を行います。

公民館における社会教育および社会体育事業につきましては、8割を超える町民が帰還し、新たな生活をしている中において、地域住民の心よりどころとなるような「**ふるさと創生大学**」、各種文化教室の開催など、生涯学習を充実させるとともに、文化ならびにスポーツイベントを開催し、地域間および世代間の交流を促進させ、併せて交流人口の拡大を図ります。また、**施設整備**につきましては、ふたば未来学園高等学校及び認定こども園の建設に伴い、総合グラウンド周辺の環境が大きく変化することを考慮し、**屋外スポーツ施設の改修**を計画的に進めてまいります。